

# 山梨県電力供給体制強靱化戦略の概要

## 戦略策定の趣旨等

### 【趣 旨】

近年、自然災害による被害が全国各地で多発する中、令和元年房総半島台風では、長期間にわたる大規模な停電が発生し、住民生活などに深刻な影響

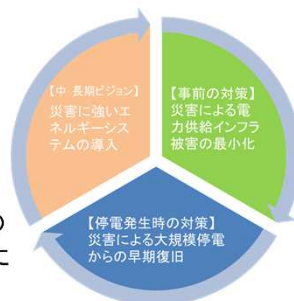
災害時においても、重要なライフラインの一つである電力の供給を確保するため、電力会社や自治体などが連携し、供給体制の強靱化に向けて取り組む事項を戦略としてとりまとめ

### 【概 要】

「事前の対策による被害の最小化」、「停電からの早期復旧」、「災害に強いエネルギーシステムの導入」の三本を柱に具体的な対策を整理

### 【推進方法】

戦略の策定に合わせ、県と東京電力PG等との間で、それぞれの役割等を明確にした覚書を取り交わすなど、関係者の連携・協力により、戦略に基づく電力供給体制の強靱化の取り組みを推進



## 戦略2 災害による大規模停電からの早期復旧

### 1 情報収集体制の強化

#### ① 被害情報等の迅速な把握、収集体制の整備

県及び東京電力PGの巡視ヘリコプター映像の相互利用や、県災害対策本部への東京電力PGのリエゾン派遣、情報伝達訓練の実施などにより、情報収集体制を強化

#### ② 県・市町村・電力会社等の情報共有及び発信体制の整備

停電復旧を優先する防災拠点、医療、上下水道、避難所等の社会的重要施設のリスト化、県総合防災情報システムによる情報の一元化などにより、情報共有体制等を強化

### 2 復旧作業への支援・協力

#### ① 道路啓開や電力供給設備の復旧等に関する協力

倒木による道路閉塞や電柱損壊からの早期復旧を図るため、東京電力PGと自治体等との役割分担等をあらかじめ整理することなどにより、連携体制を強化

#### ② 停電復旧に関する現地復旧拠点の確保

他の電力会社からの応援を受け入れるため、現地復旧拠点として活用可能な県有施設等を確保

### 3 応急電源の確保

#### ① 応急電源の供与体制の整備

速やかな発電車の派遣等、応急電源の供与・運用体制を構築

## 戦略1 災害による電力供給インフラ被害の最小化

### 1 二次被害対策(事前伐採等)の強化

■ 令和元年房総半島台風で発生した大規模停電は、倒木等による二次被害が主な原因であったことを踏まえ、樹木の事前伐採や飛来物の防止対策を実施

#### ① 優先伐採地域の選定・伐採の実施

倒木による電柱損壊等を防止するため、重要施設に給電する配電線周辺などにおいて、電力会社、県、市町村等が連携し、樹木の事前伐採を実施

#### ② 飛来物対策等に係る関係者の連携強化

トタンやテントなど飛来物による被害を防止するため、関係者が連携して、県民への注意喚起の実施や設備巡視情報の共有化を推進

### 2 電力供給設備の強靱化

#### ① 無電柱化の推進

山梨県無電柱化協議会を活用し、計画的な無電柱化を推進

#### ② 送変電設備の強化

東京電力PGIによる鉄塔等の適切な巡視・点検や、変電所等における浸水対策等の強化

## 戦略3 災害に強いエネルギーシステムの導入

### 1 社会的重要施設への非常用電源の導入

#### ① 避難所や防災拠点等への非常用電源の導入推進

避難所や防災拠点等の社会的重要施設における非常用電源の導入推進や、電動車の活用体制の整備

### 2 地域への自立・分散型エネルギーシステムの導入

#### ① 自立・分散型電源の普及

地域における災害時等のレジリエンス向上のため、自立・分散型電源の普及促進

#### ② 地域マイクログリッド等の導入検討

災害に強いまちづくりに向けた地域マイクログリッド等の導入検討